

# OCI 上の Cisco ISE インスタンスの互換性情報

## OCI 上の Cisco ISE の互換性情報

このセクションでは、OCI 上の Cisco ISE に固有の互換性情報について説明します。Cisco ISE の一般的な互換性の詳細については、ご使用のリリースの『[Cisco Identity Services Engine Network Component Compatibility](#)』ガイドを参照してください。

### ロードバランサ統合のサポート

RADIUS トラフィックのロードバランシングのために、OCI ネイティブ ネットワーク ロード バランサを Cisco ISE と統合できます。ただし、次の注意事項が適用されます。

- 認可変更 (CoA) 機能は、ネットワークロードバランサを作成するときに、送信元や宛先のヘッダー (IP、ポート) の保存セクションでクライアント IP の保存を有効にしている場合にのみサポートされます。
- ネットワークロードバランサは送信元 IP アフィニティのみをサポートし、発信側ステーションの ID ベースのスティッキセッションをサポートしないため、不均等なロードバランシングが発生する可能性があります。
- ネットワークロードバランサは RADIUS ベースの正常性チェックをサポートしていないため、ノードで RADIUS サービスがアクティブでない場合でも、トラフィックを PSN に送信することがあります。

OCI ネイティブ ネットワーク ロード バランサの詳細については、『[Introduction to Network Load Balancer](#)』[英語]を参照してください。

TACACS+ トラフィックのロードバランシングのために、OCI ネイティブ ネットワーク ロード バランサを Cisco ISE と統合できます。ただし、ネットワークロードバランサは TACACS+ サービスに基づく正常性チェックをサポートしないため、ノードで TACACS+ サービスがアクティブでない場合でも、トラフィックを PSN に送信することがあります。

### NIC ジャンボフレームのサポート

Cisco ISE はジャンボフレームをサポートしています。Cisco ISE の最大伝送ユニット (MTU) は 9,001 バイトですが、ネットワーク アクセス デバイスの MTU は通常 1,500 バイトです。Cisco ISE は、標準フレームとジャンボフレームの両方をサポートしています。コンフィギュレーション モードで CLI を使用して、Cisco ISE の MTU を必要に応じて再設定できます。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。